

こんな活動です

ヤタガラス子ども未来プロジェクト ～ふるさとの未来を託せる子供の育成～

和歌山県新宮市	●活動名	●関係する学校名
	神倉小学校運営協議会	新宮市立神倉小学校

協働活動開始年度	平成 22 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
			平成30年4月1日設置		
活動区分	—	地域課題解決学習	—	地域人材育成	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	
		1人		10人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	ICT機器活用		
	42人	無	無		
参考URL	http://www.net-kumano.com/shingu/kamikura/				



●連絡先	新宮市教育委員会教育政策課	☎ 0735-23-3364
------	---------------	----------------

●活動の概要・経緯

学校運営協議会にて、「地域行事の担い手が減ってきている。」「若い人が進学や就職で都会に出ていき、町の賑わいもなくなってきている。」などの話題が出され、地域の担い手となりうる子供たちに「この地域で育ってよかったと思ってもらいたい。」「ふるさとへの愛着や誇りを持ってもらいたい。」との思いから、地域の歴史や文化、学校の立地を生かして以下の2点を理念として取り組むこととした。

①ふるさとの未来を託せる子供の育成(地域とともにある学校づくり)
②コミュニケーション能力の育成(これからの社会の中で生き抜く力をつける)
また地域の人材を学校サポーターとして活用することで、地域に開かれた学校づくりと地域人材の育成をねらいとして実施した。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

校区には歴史的・文化的な遺産が数多くあり、その立地を生かした学びの推進について、学校運営協議会委員とそのプロジェクトにかかわる「サポーター」で学校・担任と連携を取りつつ、子供の発達の段階に応じ、地域の文化を知る取組を推進している。これまで地域の文化(チャップマン邸、西村記念館、佐藤春夫記念館等)・伝説(徐福、丹鶴姫、おいの伝説、天狗伝説等)・祭り(お燈祭り、新宮祭り等)について、サポーターと共に調査し、発表会を行うことができた。また、2年生の地域の商店街調査ではサポーターと共に商店を訪問し、成果発表会を商店街で開催するなど、多くの地域の方の参加のもと実施できた。

【実施に当たっての工夫】

実施にあたっては、学校運営協議会委員が中心となり、地域のサポーターを募った。多くのサポーターが協力くださったため、子供たちを少人数グループに分けることができ、充実した調査活動になった。事前に打ち合わせを行い、サポーターがコーディネート役となり、取組を推進した。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会が中心となり、学校とサポーターをつなぐ橋渡し役となって取組を推進することができた。また学校との連携を密にし、計画の取りまとめを行った。地域の公民分館委員が学校運営協議会委員であることから、公民館とも連携した取組を推進できている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・子供たちの「ふるさと学習」の内容が充実するだけでなく、発表を通じて、地域の中に子供たちの声を届け、地域の活性化にも一役買っている。
- ・委員やサポーターなど地域の人々と学校・子供たちとの関係が深まり、開かれた学校づくりにも寄与している。
- ・校区に世界遺産があることを知り、自分たちのふるさとについて改めて考え、誇りを持つようになってきつつある。
- ・サポーター活動を通じて、地域の人々が学校への関心を高め、子供たちを共に育てるという意識ができつつある。

● その他

・学校の図書館のスペースを改造し、「ヤタガラス子ども未来ハウス」を設置し、本事業における取組を推進する場として活用している。



「1年生 お燈祭りを知ろう」



「3年生 しめ縄作り体験」